

DX 企業講話 笠原工業株式会社 様



講師

笠原工業株式会社 課長 土屋 様

講話内容

- ・ 地域企業の DX の取り組み
- ・ 会社紹介（沿革、事業内容等）
- ・ 3DCAD について など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと・気づいたこと等】

- ・ 今年で創業 125 年
- ・ 電子部、合成部、AB 部、精密加工部の 4 部門に分かれている。
- ・ ハーネス（電源プラグ、ケーブルなど）、制御ユニットなどを作っている。
- ・ ハーネス…電気、信号を効率的に伝達
- ・ ハーネスは複数の電線やケーブルを束ねて、先端にコネクタや端子を取り付けたもの。

【感想】

- ・ 色々細かい部分もありながらしっかりつくられていて、すごいと思いました。
- ・ デジタル化が進む社会で半導体や液晶パネルなど今の社会に必要不可欠な物を製造していることを知りました。
- ・ 制御ユニットがどこに使われているか知りたい。
- ・ ハーネスの製作には機械での作業よりも人の手で行われる作業が多く、技術も必要で、製作に関わっている方々のすごさが伝わった。
- ・ ハーネスは電気や信号を効率的に伝達させて修理やメンテナンスを容易にできることを知り、見た目じゃわからないけどとても便利なのができると思った。
- ・ 目に見えない所で社会に貢献しているという、製造業ならではの誇りを感じられた。
- ・ 動画を見たら案外手作業でやるものが多く LAN ケーブルもやっていて、多品種だと全て機械化にするには難しいと考えた。
- ・ 家の近くに会社があって名前だけしか知らなかった。近く会社などは調べたい。
- ・ 少量多品種で DX 化が難しいが、デジタル社会を支えるためのものづくりをしている。
- ・ パソコンの中にある薄いケーブルなどが手作業で作れるのを初めて知った。
- ・ まだまだ自分の知らない技術や製品などが沢山あるのでそれらについてもさらに知識を深めたいと思いました。